

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和3年度
学校だより No. 12
令和3年9月1日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

2学期の始業を迎えて

夏休みが終わり、2学期の始業を迎えました。昨年度は年度当初の臨時休校の影響から、例年に比べて非常に短い夏休みでしたが、今年度は例年通りの期間があり、生徒一人一人にとって、何かに継続的に取り組んだり、深く掘り下げて探求したりする機会となったのではないのでしょうか。

一方、新型コロナウイルスの感染状況は、8月に入ってから一層厳しくなり、8月中旬までの市内児童生徒・教職員の陽性者数が、それ以前の陽性者数を上回る状況にもなっています。

このため学校においては、これまで以上に、教育活動の制限を含めた感染防止対策の強化を図り、生徒の命を守り、学びの継続を図ってまいります。

(1) オンライン学習の準備を進めます

今後、生徒や教職員に感染が確認された場合、状況に応じて、学級閉鎖や学年閉鎖、学校閉鎖等の対応をとる場合も十分に考えられます。

そういった場合でも学びを継続し、併せて生徒一人一人の心のケアを図っていくためには、オンラインを活用した学習指導等の準備を急がなくてはなりません。

このため第二中学校では、市の計画を前倒して準備を進めることとし、できるだけ早い時期にオンライン学習等を活用できる環境を整えてまいります。

また、学級閉鎖等に限らず、現在の感染状況の中で、やむを得ず登校できない生徒への対応も大切なことであり、オンライン学習の準備が整い次第、具体的な取組を進めていきたいと考えています。

今後一人一台のタブレット端末を配付し、環境整備を進めてまいります。詳細については別途お知らせをいたしますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(2) 感染拡大防止の対応①

現在、感染ウイルスの大半がより強いデルタ株に置き換わり、陽性者の増加がみられているところですが、夏季休業中の部活動や学童保育クラブでは、児童生徒から児童生徒への感染が確認されておらず、適切な感染予防策が感染拡大防止に一定の効果をおよぼすことは、現在の状況においても同様であると考えます。

このため、今まで以上に教育活動の制限を含めた感染防止対策の強化を図っていくため、保護者の皆様におかれましては、以下についてお願いをいたします。

- ご家庭での健康観察をきめ細かに行って頂き、発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合には、生徒の登校を控えてください。
- 同居のご家族の方に同様の症状が見られる場合も、登校を控えてください。
- 登校時や登校後に生徒に風邪症状等が見られた場合には、生徒の安全な下校に十分に留意した上で、帰宅の対応を取らせていただきます。
- これまで通り、以下の場合は欠席扱いとはなりません。また、緊急事態宣言が解除された後も同様となります。なお、ご不明な点等がありましたら、学校までお問い合わせください。

- ・ 生徒が陽性または濃厚接触者となった場合の欠席
- ・ 生徒に発熱や風邪症状等が見られ、感染が疑われる場合の欠席
- ・ 感染の不安等による欠席
- ・ 生徒のワクチン接種による欠席
- ・ ワクチン接種後の副反応（体調不良）による欠席